

一 般 質 問 通 告 書

令和7年第2回定例会

順番	議席番号	氏名	発言事項	要旨	答弁を 求める者
6	3	川原 慎一	1 消防団の消火活動訓練について	本年度は消防操法大会を行わないとのことだが、この大会を行わないことで消火活動に支障が出るおそれはないか。	市長
			2 無償譲渡した旧栽培漁業センターの活用状況について	施設の有効活用と今後の本市の産業振興等に期待できるとして、種苗生産などを引き継ぐ事業者は無償譲渡され、譲渡を受けた事業者は、種苗生産を軸に事業展開を計画しているとのことであったが、現在、市が期待したとおりの事業展開ができているか。	市長
			3 学校教育の充実について	(1) 現行の学習指導要領を見ると、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が強調されているが、この「主体的・対話的で深い学び」とはどのような学びか。 (2) 新規事業として4月に開催された市教育研修会は好評であったと聞いたが、どのような目的や内容で開催されたのか。 (3) 新規事業として「中学生あくねの日」と「小学生交流ポッチャ大会」を開催される計画であるが、どのような内容か。また、これらの準備の進捗状況は。 (4) 今年は戦後80年となるが、今年度、平和教育に関する事業に取り組む予定があるか。 (5) 学校では、防災教育の充実を図るためにどのような取組を行っているか。 (6) 市内に居住する生徒等に対し、部活動で九州大会、全国大会等に出場するときの支援の制度は、運動系と文化系で差異がないように取り扱っているか。	教育長 教育長 教育長 教育長 教育長

			4 青少年教育について	毎年、夏休み期間中に開催されている「キッズスクール」は、本年度から年間を通して開催すると聞いたが、開催時期や内容などはどのようなになっているか。	教 育 長
			5 P T A活動の充実について	児童生徒数の減少に伴いP T Aの会員数が減少していることにより、P T Aの組織や活動内容の見直し等を行っている学校があるが、市内の小・中学校はどのような状況か。また、このことに対してどのように対応し、支援を行おうと考えているか。	教 育 長
7	2	川 畑 二 美	1 物価高騰について	(1) 物価が高騰しているが、市独自の物価高騰対策としてどのような事業があるか。	市 長
				(2) 全世帯を対象にしたプレミアム商品券事業を行う考えはないか。	市 長
			2 阿久根大島について	(1) 船着き場から海水浴場までの歩道にセメント等で作成した椅子を設置できないか。	市 長
				(2) 車椅子でも利用できるようにスロープなどの設置はできないか。	市 長
				(3) 高齢者・身体障害者のためのカート車等の導入を考えられないか。	市 長
			3 学校統廃合について	(1) 昨年12月の地域説明会で各区長にアンケート調査をされたが、結果を公表できないか。	教 育 長
				(2) 小規模校の保護者との協議はどうなっているのか。	教 育 長
				(3) 統廃合で通学距離が長くなる児童・生徒への支援について、学校関係者・保護者とどのような協議を行っているのか。	教 育 長
			4 不登校について	(1) 令和4年度から令和6年度までの小・中学校の不登校の件数は。	教 育 長
				(2) 不登校児童・生徒とその保護者に対してどのような配慮がなされているのか。	教 育 長

			5 防犯灯について	(3) 児童・生徒が「先生方は忙しいので相談しにくい」と言っていると聞くが、教員の多忙化解消はどのようにしているのか。防犯灯の明かりが木の枝で暗くなる場所があるが、定期的な枝払いなどができないか。	教 育 長 市 長
			6 川内原子力発電所について	川内原子力発電所から大川地区まで直線距離で12キロしか離れていない。大川地区からの避難ルートは何本あるか。	市 長
			7 熱中症対策について	(1) 市役所職員が残業をしないといけない場合の熱中症対策を検討できないか。 (2) 高齢者・身体障害者の方々に熱中症対策としてエアコン設置助成はできないか。	市 長 市 長
8	9	竹原 信一	1 本市の政策、行政運営の姿勢について	本市の政策や教育行政の理念や方向性、行政運営は、全てが失敗に終わり、その原因すら見ようとせず、人口減少と市の衰退を加速させているように見える。 (1) 現在の行政運営は失敗の体質が続いているという認識があるか。 (2) 現在の施策は、市民や職員に対し都合の良い希望だけを提示していると思うが、これにより、市民から市への信頼を損ねているという認識があるか。	市 長 市 長
			2 縮小する市での公共投資の妥当性について	市がすでに消滅可能性自治体であるにもかかわらず、道の駅建設（総額40億円規模）や図書館、キャンプ場など公共投資が続いている。 (1) これらの事業が人口減少にある現在において、それに適応する施策である理由を示せ。 (2) これらの事業は、継続的な需要や採算の見込みを欠いていると思われるが、中長期の財政負担や維持管理費を考慮した実現可能なものであると言える理由	市 長 市 長

				を示せ。		
			3 誰ひとり取り残さない政策の具体性について	(3) これらの事業について、市民の意見をどのように集め、反映したのか。	市	長
				(1) まちづくりビジョンに「誰ひとり取り残さない持続可能なまち」との表現があるが、実際には取り残されている人がすでに多数存在すると考える。市として、誰が取り残されているのかという実態調査を行っているのか。	市	長
			4 教育における郷土愛の強制と子どもの自由について	(2) 「取り残さない」を実現する具体的手段や財政的裏付けはあるのか。	市	長
				(1) 教育方針の中で「阿久根を愛する子どもを育てる」とあるが、地域に希望がない状態で、その「愛」を押し付けることは、子どもたちに矛盾や虚無感を植え付けることにならないのか。	教 育	長
				(2) 子どもたちが本当に「阿久根を好きだ」と言っている理由を示せ。	教 育	長
				(3) 市が行っている郷土愛の育成が帰属の強要となっているのではないか。そうではない理由を示せ。	教 育	長
				(4) 現実と乖離した教育方針が子どもの心を傷つける危険性があることについて、どう考えるか。	教 育	長
			5 問いのない教育の限界について	(5) 市の将来像として「帰ってきたくなる」とあるが、市外に出て行く子どもたちに、市が何を準備しているのか。 教育行政では、ICT導入や地域学習、制度整備などが強調されているが、その前提として「子どもが問いを持ち、大人が共に考える」という教育本来の姿勢が失わ	市長・教育長	

			<p>6 本音で語るまちづくりについて</p>	<p>れていないか懸念される。</p> <p>(1) 教育行政に、学校を「制度」や「施設」ではなく、「関係性の場」と捉える視点があるか。</p> <p>(2) 学びを「成果」ではなく、「共にいる出来事」として扱う視点が重要であると思うが、どのように考えるか。</p> <p>(3) AIやICTの活用が進む中で、「問い続ける力」や「立ち止まる時間」をどのように保障しているのか。</p> <p>子どもたちは「本当のことを言わない大人」に敏感である。現実の「縮小と困難」に対する教育や行政の誠実さが信頼の源であると考える。</p> <p>行政運営において、「本音で語る誠実さ」をどのように担保しているか。</p>	<p>教 育 長</p> <p>教 育 長</p> <p>教 育 長</p> <p>市長・教育長</p>
9	12	山 田 勝	<p>ふるさと納税の取組と財源確保について</p>	<p>ふるさと納税による寄附は、自治体にとって貴重な自主財源である。</p> <p>制度開始から17年を経過し、自治体の取り組み方によって、寄附金額に差が生じていると感じている。本市においても、全国100位程度になるくらいの寄附金額があれば、様々な市民サービスや特色ある施策が行えると思っている。</p> <p>また、本市は、2024年にも消滅可能性自治体とされた。</p> <p>自治体の取り組む姿勢により、これらの結果に差が出ていると考え、本市の取組の姿勢などについて伺う。</p> <p>(1) 本市の経営は、限られた財源と人材の中で健全財政を維持しているのか。</p> <p>(2) 全国では、様々な自治体において、自主財源確保のために、自治体の総力を挙げてふるさと</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

				<p>納税の推進に取り組んでいると聞くが、本市の取組の姿勢は十分だと言えるか。</p> <p>(3) 全国で500位にも入らないという状況であるが、本市の取組の姿勢とその結果をどのように分析しているか。</p> <p>(4) 成果を上げている自治体を調査するなどして、取組を改善する考えはないか。</p> <p>(5) 現在、ふるさと納税推進係を設置し、職員3名により取り組んでいるが、所管課や担当係の職員だけでなく、全職員からアイデアを募集するなど全庁的に取り組む体制を構築する考えはないか。</p> <p>(6) 次回の発表の際に、消滅可能性自治体の区分から外れるようにするためには、自主財源を確保して、特色ある施策に取り組む必要があると思うが、どのような施策を展開していこうと考えているか。</p>	市	長
					市	長
					市	長
					市	長